

八甲田山連峰 山行報告

日 程：令和4年（2022年）6月23日

参 加 者：吉村・三栗・岡村眞由美・岡村繁雄

コ ー ス：八甲田山頂公園駅 → 赤倉岳 → 井戸岳 → 八甲田大岳 →
井戸岳 → 赤倉岳 → 八甲田山頂公園駅〔八甲田ロープウェイ往復〕

行動時間：5時間

昨日の岩木山登山後、休養したいところだったが、登山に適した日が23日しかなかったため、昨日に続いて八甲田連峰を目指すこととした。

当初は、大岳から酸ヶ湯へ下山するコースを予定していたが、帰りのバス便が少ないため山頂公園駅からの往復とした。



八甲田ロープウェイ



山頂公園駅の案内板にて





たもやち
田茂菴 湿原展望台より



田茂菴湿原 高山植物展望台より〔左から赤倉岳・井戸岳・八甲田大岳〕



前方 赤倉岳



田茂菴湿原では、多くの高山植物が見られた



赤倉岳への登り



赤倉岳への登る途中、山頂公園駅を望む〔望遠〕



赤倉岳 説明掲示板の前にて



縦走路沿いの高山植物

赤倉岳の山頂は、この説明板より少し歩いた意外と平らな場所に標柱だけがぽつんと立っていた。
井戸岳の噴火口はなかなか雄大で晴れていれば、よい眺望となるだろうと感じた。
思ったより山体が小さかったため、赤倉岳、井戸岳、大岳避難小屋、間は、15 分～20 分程度で、ミヤマオダマキの群落も見られ目を楽しませてくれた。



赤倉岳から井戸岳縦走路脇の、ちょうど見ごろのミヤマオダマキの群落





赤倉岳噴火口



赤倉岳噴火口沿いを井戸岳へ



前方のピークが八甲田大岳その手前に井戸岳噴火口



井戸岳 説明掲示板の前にて

縦走路沿いには、井戸岳の山頂ピークは無く、この説明板の先が噴火口で、左の道標には、「大岳避難小屋 0.5km・赤倉岳 0.3km」と記載がある。

稜線沿いには、所々まだ残雪が残っている感じで、ここから井戸岳噴火口沿いに八甲田大岳を目指した。



井戸岳噴火口



前方、八甲田大岳 右下に大岳避難小屋を望む



縦走路沿いでは、所々お花畑が点在し花盛りであった



大岳避難小屋



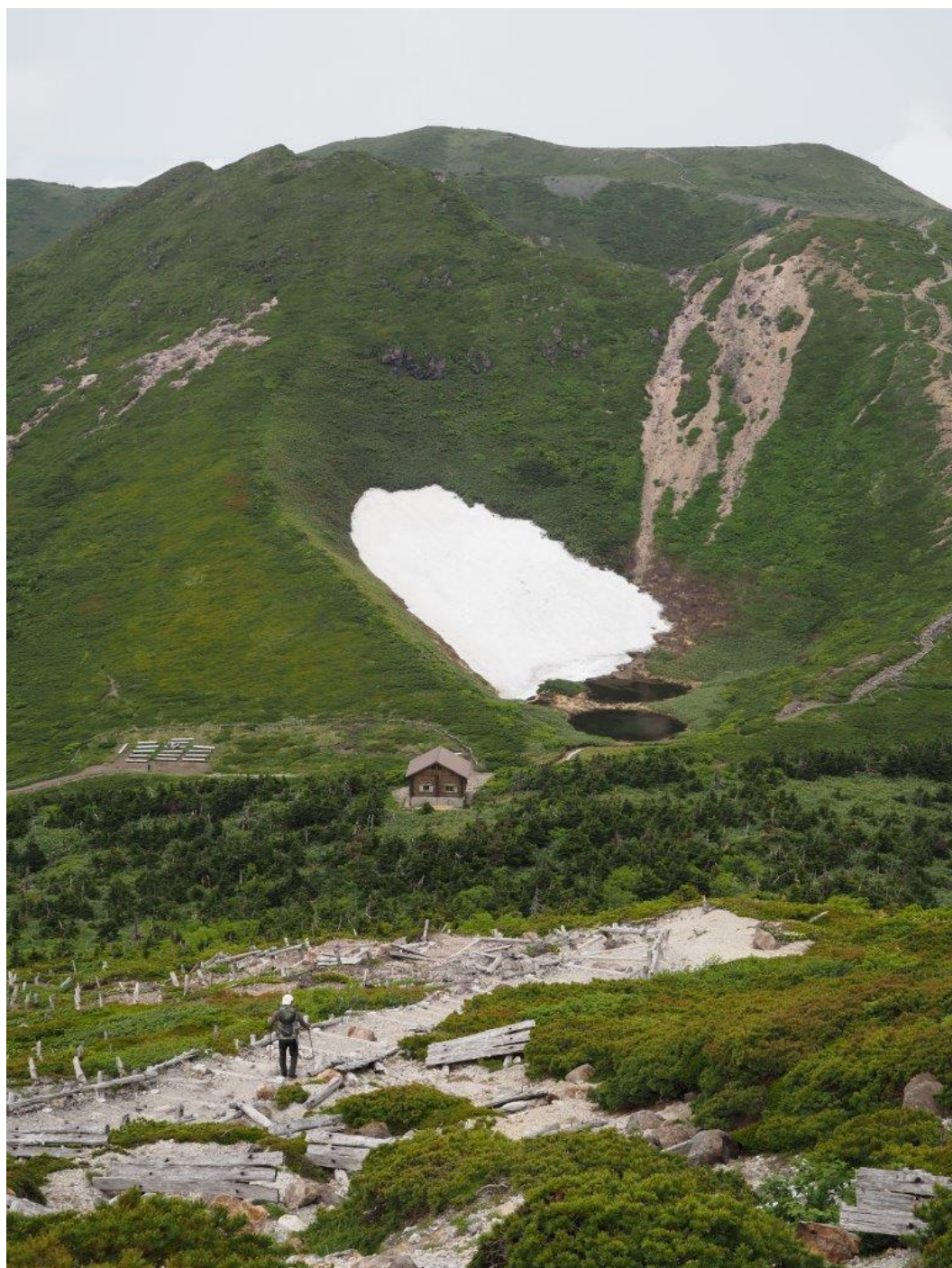
八甲田大岳 登りの雪溪



八甲田大岳山頂



八甲田大岳山頂より赤倉岳と井戸岳を望む



八甲田大岳を下山
井戸岳と大岳避難小屋



大岳避難小屋

大岳避難小屋は、良い被写体で晴れていればもっとよい風景写真が取れると思う。



八甲田ロープウェー山頂公園駅到着 お疲れさまでした！

下山途中、田茂菰湿原付近で多くの観光客が普段着で散策しているのが見られた。

酸ヶ湯温泉の予約は、明日取っているため早々に下山。その後まもなく、ぽつぽつと雨が降り出し、本日の十和田湖の宿へ着いた頃は、どしゃ降りであった。

この不安定な天候の中、今回山旅の目標である岩木山と八甲田を登ることが出来、幸運であった。